

時局日誌 (三十七)

Y
H
生

八月十三日

陪審法第十二條ノ規定ニ依ル直接關稅ノ種類(勅令第五二七號)石炭坑爆發豫防試驗所手数料及使用料金(勅令第五三〇號)澱粉類配給統制規則(農林省令第六八號)價格等統制令第七條ノ規定ニ依ル化粧品ノ販賣價格指定(商工省告示第四四二號)公布

十三日の對英大空襲に於て獨空軍が擊墜した英空軍機の總數は九十六機に達した旨十三日深更獨軍當局より發表された。これは從來の對英空襲における一日の擊墜數の最高レコードである。なほ右の中五十機はドーヴァ附近における空中

戰で擊墜したもので、獨機の損失は僅に二十六であると。

英空軍省では諸情報を綜合するに十三日の空中戰に於て我軍の擊墜せる敵機總數は六十九機に上ることが判明した。我方の損害は戰闘機十一機行方不明、但し右の中五機の操縦者は無事であつた。

又十三日英空軍省發表によれば十二日の英國東南岸上空に於ける獨英空中戰に於て英軍は獨機六十一機を擊墜した。これに對し英空軍は戰闘機十三機を失つた。

八月十四日

前農林次官 井野 碩哉

任農林次官 依願免本官 農林文官 荷見 安

渡洋爆發三周年記念日に當り海軍重慶爆發隊の今次大空襲開始以來約三ヶ月に互る驚くべき戰果が公表された即ち、市丸、大林、山本、菊池各部隊長の率ゐる精銳が主力となり天候の許す限り四川各地へ突入その攻撃延日數は三十八日に及び正に空前の連續爆發、延機數亦三千三百機を超えてをり重慶を蔽ふ海の大編隊群の威容が偲ばれるのである。攻撃主目標は重慶の覆滅にあり投下爆彈約二千トン、一回八十トン近い多量の爆彈が叩き込まれてをり、電燈、水道、電話は一切

潰滅し目星しい政府の政治、經濟、軍事機關も殆ど全壊し要人は四散した。

八月十五日

改進黨以來五十九年の黨史を有する民政黨は愈々解黨した。

我が海軍陸戰隊は興化灣（廈門北東）を急襲し抗日、密輸基地を潰滅した。

八月十六日

船舶機關規程中改正（逓信省令第四五號）軍隊教育令改正（軍令院第二二號）公布。

十七日ドイツ政府は英國が「不法」なる海上戦を行ふことに對する報復として英國に對し完全封鎖をなす旨宣言し、今後英領海内に入る船舶はその國籍の如何を問はずドイツは潜水艦、飛行機、水雷艇をもつて無制限にこれを攻撃する旨布告した。

八月十九日

魚油配給統制規則（農林省令第七一號）公布

十九日午前三時十分三原山は突然活動を起し數十丈の白煙天に沖し壯觀を呈してゐる。活動狀態は去る昭和十二年と比較すれば微弱で、波動を伴はず、ガス體を噴出する音響が永續してすさまじい、ある港方面においては降灰甚だしく殆ど目をあけて歩きがたいとの報告である。

十八日英本土に對して猛然なる空襲を敢行した獨空軍は十八日夜から十九日早曉にかけて編隊を以てイングランド東南部に來襲、中一機は英東南部海岸の一部市に多數の強力爆彈と焼夷彈を投下した。

獨軍發表によれば十八日日曜日對英空襲は英機の撃墜數に於て今までの記録を破り百四十七機を撃墜、うち五十一機はフット中佐の率ゐるホルスト・ヴェツセル驅逐機部隊によつて撃墜された。右のほか英國の阻塞氣球三十三個を撃墜、獨空軍の損失三十六機であつた。

英空軍省の發表に依れば、十八日英國

（來襲せる獨機のうち英國軍により撃墜されたもの總計百四十一機を算しそのうち百廿六は戦闘機により、十三は高射砲により残り二機はサーチライト部隊により撃墜された。同日英空軍は戦闘機二十二を失つたが内十機の乗員は生還した。

八月二十日

早害防止農業水利改良事業補助規則（農林省令第七二號）、重要農林水産物増産助成規則中改正（農林省令第七三號）臨時米穀配給統制規則（農林省令第七四號）ニツケル使用制限規則（商工省令第六二號）公布

我が海軍重慶爆撃隊は遂に敵部連續攻撃三十回の輝しい記録を空軍史に打ち樹てるとともに敵都重慶の制空權を完全に把握した。

内閣情報部擴充強化に關する情報局官制案審議の第一回協議會は二十日午後二時より首相官邸に開催。村瀨法制局長

官、星野企畫院總裁、伊藤内閣情報部長以下各省關係局部課長十一氏が參集。先づ星野企畫院總裁より内閣情報部の沿革並に擴充は決定に至るまでの經過につき説明あつて審議に入つたが、各省局部課長は擧つて擴充案に協力の態度を示し現在各省に散在する啓發、宣傳、情報及び檢〇の全機關を統合し内閣情報局を設置するとの内閣案支持に意見一致し同三時半散會した。同日意見の一致を見た擴充案の根幹たる官制改正案の要點は次の如くである。

一、陸海軍は大本營報道部を除き陸軍省情報部、海軍省軍事普及部を全部内閣情報部へ移すほか大本營の報道事務中においても一般への發表事項は「大本營報道部發表」の形式のままこれを移す。

一、外務省情報部は原則として移したゞ同省本來の職務につき大臣官房に擔當職員を残す。電信課はそのまゝ。

時局日誌

一、内務省圖書課は著作權を除き全部移管する。内務大臣の權限となつてゐる圖書の刊行頒布、販賣も移した文部大臣の所管にも屬する映畫、演藝等の宣傳檢閱事務も移す。

一、逓信省のラヂオ監督權を移すがその限界につきなほ研究の餘地あり、また技術部門は残す。

一、豫算は取敢ず第二豫備金より支出。一、廳舎は暫定的に現在の内閣情報部、同分室及び舊議事堂を使用する豫定。

チャーチル英首相は二十日下院における演説において英國は米洲にある英屬領の空軍及び海軍基地を九十九年間米國に任與するに決した旨言明した。

ハリファツクス英外相は二十日議會においてニューファウンドランドからカリビア海に至る西大西洋の若干の島嶼の軍事施設の租借權を米國に與へる交渉が、「原則的に成立した」と發表した。

二十日午後五時メキシコ南の郊外コロ

アカンの自邸に於いて暴漢に襲はれ重傷を負つた亡命革命家レオン・トロツキ氏は其後醫師の手當を受けてゐたが二十一日午後七時廿分遂に死亡した。享年六十二。

八月二十一日

陸軍管區表中改正（軍令陸第二十三號）公布

八月二十二日

外部大臣松岡洋右氏は外交陣營刷新の爲め駐米大使堀内謙介外大使公使參事官等四十氏に歸朝命令を發した。

八月二十三日

海軍航空部隊は本日第三十二次重慶畫間攻撃を實施せり、總指揮官佐多部隊長の指揮する大編隊は敵地上砲を冒して重慶軍事施設を猛爆、爆撃效果極めて大にして火焰天に冲せり、敵機は依然としてその姿を見せず我が方損害なし。

八月二十四日

内地連絡運輸規則（鐵道省告示第一八八

八五

（號）公布

愛縣縣總務部長 山内 繼喜

法制局第二部長 森 山 銳 一

小畑企畫院次長

任山形縣知事

企畫院調査官 奥村喜和男

新體制準備委員後藤文夫氏外二十五名

後藤隆之助

朝日新聞社論說委員 澤 村 克 人

發表（第二十二卷第九號一二七頁以下參照）

政府においては先般來蘭印使節派遣に關し小磯大將その他各方面と協議中なりしところ今般小林商工大臣を特派することとに内定せりと富田内閣書記官長は發表した。

八月二十五日

二十五日夜英空軍省は二十四、五兩日の獨英空軍の損害比較を次の如く發表した。

近衛首相は新體制準備委員會の幹事役として六名の常任幹事を置き同委員會の實質的推進機關たらしめることとなつたが、更に右常任幹事の補佐として各幹事に從屬する左記六名の事務機關を設け事實上の準備委員會事務局を構成することに決定した。

二十四日は午前引續き午後二時過ぎ再びロンドン地區に空襲警報鳴り渡り、獨空軍飛行機が非常な高度を取つてロンドン地區上空に現はれたがロンドン郊外上空において高射砲の集中射撃を受け間もなく引返した。獨軍は少くとも三百臺以上の爆撃機及び戦闘機をこの空襲に使用したものと云はれてゐる。同時にポーツマス地區に對しては約五百臺の獨爆撃機及び戦闘機が來襲し英スピットファイア戦闘機との間に猛烈な戦闘が行はれた。

△獨機墜七十五△英側損失二十四 機 數十九、飛行士七名、二十五日機數四、飛行士一名。

武藤軍務局長

陸軍省軍務局軍務課員 牧 達夫中佐

二十五日獨空軍は大編隊を以て英本土空襲に出動したがイングランド西南部の上空において英空軍と激しい空中戦を演じドイツ側の目下の發表に依れば双方の損失、英機五十一機、獨機十二機であると。

阿部軍務局長

海軍省軍務局軍務課員 高木 惣吉大佐

八月二十六日

富田書記官長

内閣官房總務課長 稻 田 周 一

地方分與稅分與金特別會計支拂元受高取扱方ニ關スル件（大藏省令第六六號）アルミニウム製造獎勵金交付規則（商工省

村瀨法制局長官

村瀨法制局長官

ルミニウム製造獎勵金交付規則（商工省

令第六六號) 公布

ノモンハン事件停戰協定に基く滿蒙現地國境確定委員會は去る八月三日以來ソ聯邦チタ市において滿洲國側下村外務局政務局長博産滿都興安局參與官、外蒙側スミルノフ參謀大佐、ドボウ大佐、ドルジ師團中將双方代表間で前後六回に互つて開催されたが、現地作業にかゝる一切の取極めを完了するに至つたので、双方代表一行は現地實測のため二十五日夫々現地向つた。尙滿洲國側代表は二十五日チタ市出發二十六日滿洲里着の豫定である。滿洲國政府では右に關し左のごとくコミュニケを發表した。

「共同コミュニケ」昭和十五年六月九日の東郷、モロトフ取極及び同年七月十八日の東郷、ロソフスキー取極に基き設定された滿蒙現地國境確定混成委員會は今年八月三日ソ聯邦チタ市に於て第一回會議を開催し、會を重ねること六回、その間屢々技術専門家の會議を行ひ、相

互理解の精神を以て現地作業に關する幾多の取極を決定し、所期の成果を収めたり、よつて滿蒙双方全權代表部は八月二十五日チタ市を出發現地國境に向へり。新體制準備會の民間側委員は二十四名の豫定のところさらに左の二名を追加することになつた。

前書記官長貴族院議員 太田 耕造
前社大中央執行委員長 麻生 久
英空軍による二十六日早曉の對獨空襲に引續き獨爆擊橋編隊は又もヤウエールス各地及びイングランド東南部に飛來廣範圍に互つて燒夷彈を投下した。なほこの日戰闘機に護衛された他の獨爆擊機の大編隊が英佛海峡を突破せんと試みたを英防備陣の活〇によつて撃退された。

英空軍による二十六日早朝のベルリン空襲は午前零時十九分より三時二十三分迄三時間四分の長時間に互り行はれた。これは開戦以來ベルリンが體驗した最も長時間の空襲であつた。而かもベルリン

市の心臓部を襲撃、ウイルヘルム街の總統官邸その他の官衙街に低空飛行を試み、獨高射砲陣は低くたれこめた雲を衝いてこれに對し猛射を浴びせた。

八月二十七日

大橋次官心得は今二十七日午前十一時オランダ公使パヴスト氏の來訪を求め、今帝國政府は藏印特派使節として商工大臣小林一三氏を派遣することに決したる旨申入るところあつた。小林使節に隨行する一行の氏名左の如し。

- 東電重役 岩瀬英一郎
- 通商局第六課長 太田 知庸
- 文化事業部 箕輪 三郎
- 通商局第二課 長谷川三郎
- 外務技師 大島宗子郎
- 副領事 蓮見 幸雄
- 企畫院調査官 菅原 良忠
- 大藏省事務官 小島 宗高
- 陸軍大佐 五本 五雄
- 航空兵中佐 中山 寧人

海軍大佐 中原 義正

海軍機關少佐 中筋 藤一

商工省商工書記官 奥田 新三

商工省燃料局事務官 島中 大輔

商工省貿易局書記官 長谷川 輝彦

拓務省拓務書記官 山本 邦雄

其外使節附として、

外務屬 矢田山 保

外務書記生 有吉 嚴

同 金子 光一

拓務通譯生 佐立五十男

八月二十八日

國民待望の新體制理念の近衛聲明は二十八日午後二時新體制第一回準備會の開會を待つて近衛内閣總理大臣の名をもつて中外に發表された。その中心理念を萬民翼賛の國民組織の確立に置き、さらに次のごとき骨子を敷衍して新體制の理念を闡明してゐる。すなはち冒頭において、
一、國內體制整備の新體制確立の急務を述べ、一、新體制に含まれる基本問題と

して、

(一) 統帥と國務との調和

(二) 政府部内の統合および能率の強化

(三) 議會翼賛體制の確立

の三點を擧げ、

一、しかしその基底は萬民翼賛の國民組織の確立にある。

一、その組織は經濟文化の各領域にわた

り縦に組織化せられ、さらに各組織を

横に統合する全國的のものである。

(一) これにより國民を政策樹立にあ

たり内面的に參與せしめる。

一、國民組織完成への國民運動は絶対に

いはゆる政黨運動ではあり得ない。

一、しかもいはゆる一國一黨の形をとる

ものでもない。

一、要するに國民組織は國民が大政黨賛

の誠をいたさんとする國家的かつ恒常

的なる組織である。

旨を強調してゐる。しかして最後に準備

會の議題にして、

一、國民組織の一般的構成

二、國民運動の中核體の組織

三、これと現存諸團體との調整、國家機

構との聯繫

の三點を揭示して居る。

松岡外相は現下外交轉換の施策に萬全

を期するため近衛首相と協議の結果、前

駐伊大使白鳥敏夫、法學博士齋藤良衛兩

氏を外交顧問に任命することに決定、左

の如く發令された。

特命全權大使 白鳥 敏夫

法學博士 齋藤 良衛

外交顧問被仰付(親任待遇)

挾間内務次官は新體制準備會常任幹事

追加せらる。

二十八日の準備會席上座長有馬頼寧伯

から「國民は準備會の成果に大きな期待

を持つてゐる。然しこゝには從來對立の

立場にあつた人々が集つてゐるが、各々

私心を捨てて公心を以て論議し個々の立場

に泥らず一糸亂れず協力してゆく事が肝腎である。然もこの心構へを一般國民に明示する必要があると思ふ」と述べ之に對し後藤、岡崎兩委員から「全く同感でありこゝで誓を定めてはどうか」と提案したので、全委員とも異議なく議事を一時中止して午後四時半休憩し、常任幹事に草案を練らせた結果左記の如き宣誓書を作成同五十五分再開劈頭有馬座長から賛成を求めたに對し全員起立して可決、近衛首相以下全閣僚並に各民間委員が宣誓書に署名した。この誓もその精神は皆

相聲明と同じ理念に發するものであることは明であるが、新體制の具體的發足たる第一回準備委員會に當つてかゝる誓がなされたことは政治的に極めて重大なる意義をもつものとみられる。

誓

我等は大御心を奉體し、一切の私心を去り、過去に泥まず、個々の立場に捉はれず、協心戮力、以て新體制確立の

ため全力を盡さんことを誓ふ

八月二十九日

八十三の高齡をもつて去る二十四日死去したドイツの科學者テレビジョンの發明者パウエル・ニプコウ技師の死を悼みヒトラー總統は同技師の葬儀を國葬をもつて行ふべきことを布告した。これは戦時中殊に科學者を大切にするヒトラー總統の方針の現はれとして好い印象を與へてゐるが國葬は三十日午前十時からベルリン大學校庭に於て行はれる。

イタリア空軍は二十八日今次大戦勃發以來最初のスエズ運河爆撃を試み、爆弾はポートサイド、イスマイリア間運河の最北部並にエヂプト、パレスチナ間を結ぶ鐵道の通ずるエルカタラ渡船場に投下された。

二十八日深更から二十九日早曉にかけてのロンドン空襲は六時間以上にわたる市の中心部に對して行はれU・P電報によれば七臺以上のドイツ機がトラファル

ガー廣場のうへを低く飛びかひ照明彈、爆撃彈を投下するのが見られたと、それ以上の詳報および損害程度は不明である

が、獨逸空軍は後から後からトリレー式に相次いでロンドンの心臓部を猛襲、爆撃數トンを投下濺々たる火焰は天を焦さんばかりである。觀樂街ピカデリー・サーカスは辛うじて爆彈の洗禮を免れたが、轟々たる蒸氣ポンプと砲聲は耳を聳するばかりで獨機の韻律的な發動機音が之に混つて頭上高く轟いた。一方ベルリンからの情報によればイギリス空軍は二十九日早曉三時間にわたつてベルリンを空襲市の中心部から見ると東南の空が明るく火災が起つてゐるらしいと報ぜられ、市の西部にも數個の照明彈が投ぜられたと傳へられる。

二十八日午後ドイツ空軍は大編隊をもつてイギリス戰艦機防禦陣突破を企圖しケント縣海岸地方ではイギリス戰艦機との間に戦鬪が行はれドイツ機二十四臺が

撃墜された。ドイツ機は少量の爆弾を投下し得たに止るが、テムズ河畔の一都市においてはあの程度の損害を受けたといはれる。さらに同夜は例によつてドイツ空軍の「安眠妨害夜襲」がはじまり、ロンドン地區では空襲警報が発せられた。警報は二十六、七兩日夜の恒例の時間よりも幾分早目に鳴らされた。ロンドン地區外邊では四ヶ引に爆弾が投ぜられ、ドイツ空軍は都合十三の都市を襲つた。

八月三十日

自動車徴發事務細則中改正（陸軍省令第三〇號）、海運統制令施行規則中改正（逓信省令第四六號）公布

帝國政府と汪精衛氏を首班とする中華民國政府の間に締結される國交調整に関する基本條約、附隨事項ならびに綱目事項など一切の條約草案は七月五日以來二ヶ月間にわたり十五回の正式會談を経て二十八日實質的に現地交渉終結の段階に達し三十一日阿部大使、汪精衛行政院長

の歴史的會見で一先づ南京における手續を完了することとなつた。なほ三十一日は午後四時兩國交渉委員全員が國民政府の會議室に參集して日本文ならびに華文による條約全般にわたつて照合のうへこれを確認し引續いて同所において阿部、汪兩氏が會見、東亞共榮圈確立を目指す今次會議の成立を祝し合ひ將來にわたる強固な提携を誓ふこととなる。かくて條約草案は九月早々大使隨員團が上京して政府に傳達、その説明に當つて國內手續となり一方支那側においても立法院の審議に附されかくて再び南京に移されて正式調印となりいよいよ日本の國民政府承認となるわけである。かくて蘆溝橋に發端した支那事變は三年にわたる戰火の中から新しき世界體制に對應する曙光を見出し今春三月三十日南京に還都した國民政府がその成立の意義をさらに加へて皇軍の僱むことなき重慶政權潰滅の軍事行動を併行して全面和平への途が開かれる

わけである。

陸軍航空部隊の高橋、鈴木、松山などの各部隊は三十日午後零時半乃至一時の間に於いて臨海線沿線における武功、咸陽、寶雞の各都市近傍に據る敵重要軍事工場を猛爆、各部隊は正確に敵目標を捕捉各所に大火災を起さしめ極めて甚大なる損害を與へたり武功西南側地帯では敵高射機關砲の射撃を受けたるも全機無事歸還。

南支陸鷲丸田、若松、首藤各部隊の精銳は三十日鷲翼をつらねて廣西省南寧西方に發動しはじめた敵に對して猛爆を加へ全機無事歸還した。また天津部隊は永從方面に潜入せる敵に互彈の雨を降らせて粉碎し甚大なる損害を與へて全機歸還した。

廣西省奥地に訪れたる好晴に乗じ海軍航空部隊は八月三十日左の攻撃を反覆大なる効果を收め全機悠々基地に歸還せり即ち高橋部隊長の率ゐる〇〇機は柳州、

貴陽道の要點東江を奇襲、その重要橋梁を巧妙なる爆撃により多數の有効弾をもつて切断するに成功、また瀋中、蝶野各隊長の率ゐる編隊は昨日に引續き本日にも一回に互り東瀾を襲ひ防禦砲火を冒し數十輛の貨物満載のトラック及び數棟の軍需品倉庫を爆碎、軍需品倉庫は火焰天に沖して燃え鳥有に歸したり。

三十日獨空軍は南イングランドの英空軍基地に猛爆を敢行したが、各所において英空軍と激烈な空中戦が演ぜられ同夜中に判明せるところでは兩軍の飛行機の損害は英八十機、獨二十一と獨軍は發表したが、英國側の發表では獨機六十二、英機十五が撃墜されたと報じてゐる。

八月三十一日

簡易保險健康相談所規則（厚生省令第三三號）、日滿支連絡運輸規則（鐵道省告示第一九四號）公布

日支國交調整の條約交渉は三十一日午

時局日誌

後五時から國民政府内會議室において阿部全權大使と行政院長汪精衛氏が交渉終結に關する挨拶を交換して現地交渉を閉幕する運びとなつた。

阿部大使は日支交渉も三十一日を以て終了する運びとなつたので會議に臨むに先立ち本日午後二時西尾支那派遣軍總司令官及び板垣總參謀長を訪問、交渉に際して與へられた軍側の支援に對し感謝の挨拶を々種々會談して辭去した。

三十一日午後六時半南京日本大使館は次の如き日支共同コミュニケを發表した。第十六回會議は八月三十一日午後四時開會、日支交渉委員間に前回までに妥結に達せる案文の照合、確認を行ひ同五時阿部大使及び汪行政院長出席挨拶を交換し午後五時三十分散會せり、本會議を以て現地における交渉は一段落を告げたり。

婦人團體の再編成強化案は新政治體制運動の發展と共に再び表面化し之に即應

して新婦人團體統合の萌芽が見えてゐるが昨年十一月結成された婦人時局研究會では三十一日午後一時から日比谷松本樓に愛婦、國婦、東京聯合婦人會、女子青年團其他の十七婦人團體から各二名の代表を選出して四十餘名が特に新體制婦人團體協議會を開いた河崎なつ女史の挨拶昭和研究會林博吉氏の新體制運動の實體に付いて説明を聽取したのち市川房枝女史が婦人時局研究試案として職能に基く婦人組織、主婦勞働、婦人文化團體所屬婦人に付き詳細なる發表を行ひ續いて協議意見交換をなし今後も此種會合を開いて婦人新體制運動促進を申合せ午後五時頃散會した。

九月二日

石炭坑用爆藥類及機械器具取締規則（商工省令第六八號）、石炭坑用爆藥類及機械器具檢定規則（商工省令第六九號）公布

九月三日

ルーズヴェルト大統領は三日議會に對

し英米兩國政府は南北大西洋の英領海空軍基地たるベハマ群島、ジャマイカ・セント・ルシア、トリニダッド、アンチガ及び英領ギアナ租借並に艦船超過驅逐艦五十隻の對英讓渡問題につき最後の意見の一致を見た旨通達した。

九月四日

森林組合令（勅令第五五九號）北海道ニ於ケル森林法ノ適用ニ關スル件（勅令第五六一號）公布

天皇陛下には秋風爽かな四日神奈川縣座間の陸軍士官學校に行幸、聖戰下皇國國防の責任を擔つて巢立つ同校第五十四期生徒卒業式に親臨あらせられた。

時局の風に煽られてその歸趨を注目されてゐた日滿ローターリ聯合會は四日遂に解散した。

九月五日

森林組合登記取扱手續改正（司法省 第五八號）、森林法施行規則中改正（農林省 令第七九號）公布

陸軍砲兵大尉北白川宮永久王殿下は豫て軍參謀として御出征中のところ九月四日作戦任務御遂行中蒙難〇〇において飛行機事故により戦死遊ばさる。

◎宮内省告示第十八號

陸軍砲歩兵少佐大勳位永久王殿下昨四日午後七時十二分薨去セラレ

昭和十五年九月五日

宮内大臣 松平 恒雄

海軍大將從三位勳一等 及川古志郎

任海軍大臣

海軍大臣 吉田 善吉

依願免本官

獨軍司令部發表に依れば、

一、最近數日間、わが海軍は敵驅逐艦五隻を撃沈した。即ち去る二日わが潜水

艇は北海において敵驅逐艦二隻を撃沈

したがその後、エクスプレス號、エス

ク號（共に一、三七五トシ）及びアイ

ヴアンホー號（一、三七〇）の敵最新

鋭驅逐艦三隻を爆沈せしめた。

一、昨四日を通じて敵空軍は五十七機を失つたが中五十四機は雲間の空中戦により他の一機は夜間防空砲火により殘る二機は地上においてそれ／＼爆碎されたものである。わが方も十七機が未だ基地に歸還せず。

九月六日

生鮮魚介類出荷統制施設助成規則（農林省令第八〇號）公布

六日の第三回新體制準備會で國民組織運動體の組織試案の審議に慎重を期するため準備委員中より特に若干名を擧げて特別の審議を進めることに意見の一致をみたので、近衛首相は右に基き七日左の十一委員を指名、同日富田書記官長が首相の命によつて各委員に案内狀を發し、九日午後一時から首相官邸で特別審議會を開くことになつた。この審議會には常任幹事八氏も加はり、準備會において三回に互り論議された内容を整理し取纏めこれに基き常任幹事會の組織試案を練り

直して、その結果を十日の第四回準備會に提示し近衛首相の統裁に資する譯である従つてこの審議會を小委員會若くは特別委員會と呼稱することほこゝで何等かの決議を行ふが如き印象を與へて適當でないとの意見が六日の準備會でも出たので、特にさういふ名稱を用ひず新體制準備に關する審議會と呼ぶことになつた。

審議會の委員氏名は井田馨楠男、八田嘉明、小川郷太郎、岡田忠彦、岡崎勉、金光庸夫、永井柳太郎、古野伊之助、後藤丈夫、有馬頼寧、末次信正。

新體制準備委員麻生久氏は去月二十八日病驅を押して第一回準備委員會に出席會議を終へて歸宅後病勢悪化し全身に浮腫を生じ重態のまま本郷區駒込林町二〇二の自宅で加療中であつたが、六日午後零時二十分心臓辨膜症のため死去した。享年五十。

ヒトラー：總統の強硬演説を反映して獨逸空軍の對英空襲は四日、五日と俄然猛烈

さを加へたが、五日夜の如きはロンドン地區の空襲警報は實に七時間三十五分の長きに互り開戦以來の長時間記録を作つた。

ルイミア國王カロール二世は六日朝遂に退位し皇太子ミカエル殿下の即位を布告した。而して新國王ミカエル殿下が即位後第一に行つたことはアントネスコ首相に完全なる獨裁權を賦與する勅令に署名したことであつた。カロール二世は既にスキスへ亡命したといはれてゐる。

英空軍省七日の發表によれば英空軍は六日午後十一時より七日午前一時に互つてベルリンを空襲。

九月七日

七日ロンドンに對し今迄にその比を見ない程猛烈且廣汎な襲撃を施行し市の心臟部目がけて何千といふ爆彈を投下した。これ等爆彈の響音は全市を震撼し火災は隨所に勃發、各所で電信、電話、水道等の公共施設を破壊した。燒夷彈が地

上に炸裂して炎々と燃えさかる中に照明彈の閃光が照し出す獨機は殆ど空を蔽ひ而も海峡方面から次々に傳へられる報告は「獨機の編隊は相次で頭上を越えロンドン方面に向ひつつあり」とのみで空襲は今夜も又終夜續けられるのだらう。

九月八日

わが荒鷲の相次ぐ重慶爆撃にいまや抗戰策謀の本據重慶は全く死の都と化し、重慶側では抗戰陣營の離反、民心の動搖による抗戰能力の低下を極度におそれて新聞紙に、ラヂオにあらゆる機關を通じて逆宣傳に狂奔してゐるが、さらに八月十九、二十日の兩日に互る致命的空襲を見舞はれて以來その逆宣傳はいよゝゝ活潑の度を加へ人道主義的立場から或は第三國の權益保全を強調して躍起となつてゐるにも拘らず重慶の恐怖を物語るわが空襲の物凄さが抗日紙によつて傳へられいやが上にも民心を恐怖のどん底にたゞき込んでゐる。

當地に達した外人筋の情報によれば蔣政權は遷都を正式に發表し重慶は西安と共に陪都(副首都)とする旨を公布した。

九月九日

映畫法施行規則中改正(内務文部厚生省令第三七號)公布

九月十日

纖維製品製造制限規則中改正(商工省省令第七一號)公布

ハノイよりのUP電によれば佛印國境に集結中の支那軍は十日午後四時三十分佛印雲南國境老開の國境橋を爆破し、紅河を距て、佛印と雲南省を結ぶ同橋梁は完全に破壊せられたといはれる。

英機のパルリン空襲や八日深更(ハンプ)ルグ住宅が三十戸英空軍のために破壊され多數の死傷者を出したことなど英機が依然として夜間の無差別爆撃を繼續してゐることはドイツ軍部を極度に憤激させ、かくなる以上はイギリス國民の責任に於てロンドン全市を灰燼に歸せしめるも

また已むを得ない」と決意せしめ斯くてドイツ空軍のロンドン攻撃作戦は次第に假借なき方法に進展せんとしロンドン東南の軍事施設の潰滅とともにロンドン中央の政府所在地の爆撃にまで發展せんとする可能性はいよゝゝ濃厚となつた。

獨機のパルリン空襲は十日夜の更けるにつれ愈々猛烈の度を加へ十一日午前二時頃に至るや最高潮に達した。獨機の編隊は四方からロンドン上空に現れ忽ち編隊を解いて各機は各目標に向つて急降下爆撃を始めた。ロンドン市内各所から起る火災と爆彈の轟音から判斷するとその爆撃は去る七日の空襲に匹敵するものと思はれる。なほ十日夜の爆撃で病院二、學校等にも爆彈が命中したと言はれる。

九月十一日

江北の平野に新四軍は完全に包圍した我が軍は十一日正午包圍網を直径三十キロに壓縮し本戸、石井部隊は銅城鎮、黎城鎮の線より西方へ、鈴木部隊の一部は

蓮塘舖より北方へ、小越部隊の主力は根頭橋、三河頭より東方へ、敵を三河の退路遮斷線にひた押しに追撃し集中砲火を浴びせかけ狼狽する敵に大打撃を與へ、一方三河警備の海軍砲艇隊は算を亂して敗走す敵を蔣家霸胡家庄の河岸に挟撃し更に白馬湖西方地區林家馬頭黃集附近に敗走する敵に對し空軍の必中彈を浴びせかけ、敵第五支隊は全く潰滅した。かくて江北戦野に赫々たる戰果を擧げた各部隊長は十一日夕刻饗を並べて三河附近に集結、感激の會見をなして戰勝を祝しここに今次新四軍第五支隊殲滅戰は全く終結した。

九月十二日

十二日午後海軍重慶攻撃隊は第三十三次重慶攻撃を實施したが、この日の進撃は始めて各機種による完璧の綜合攻撃が行はれたとともに海軍機による果敢な重慶「低空銃撃」が實施され世界無比の記録を打樹てた。わが綜合進攻の報に敵戰

開機は逸早く護りをして、逃亡、午後一時まづ寺島部隊の新鋭機群は快晴の重慶上空に姿を現し高空から彈丸のごとく低空へ下り長江東南岸の海棠溪南部一帯の殘存施設をめざして高射機關銃彈の中を海鷲のほこる一彈必中爆撃を行ひ火災三ヶ所その他黒煙は遠く數十マイルの彼方から黒々と見られるほどであつた。ついで午後二時粟野原部隊長總指揮下に中村(源)奥山、中井、千早、西田各隊の大編隊群は高角砲彈を尻目に重慶市内西部の李家花園一帯の蔣介石はじめ敵要人の住宅地に巨彈を浴せ徹底的に壊滅せしめ燃えるものすら残つてゐない状態であつた。この間横山部隊は低空實に百メートル重慶の屋根すれすれに飛翔し殘存物に統撃を行ひ存分猛威をふるつて全機凱歌を擧げた。大西部隊長は、敵の動搖はいよ／＼はげしく特に本日の低空統撃の偵察により重慶が豫期通り壊滅してゐることを見届けわが攻撃の成果に對し確信を

得たのは欣快である。さらに敵中樞に對する攻撃を實施する。と固い決意を語つた。

九月十三日

宇都宮陸軍飛行學校令(勅令第五七七號) 大刀洗陸軍飛行學校令(勅令第五七八號) 陸軍武官官署表(勅令第五八〇號) 陸軍兵等級表ニ關スル件改正(勅令第五八一號) 高等官ニ等俸級令中改正(勅令第五八二號) 文武判任官等級令中改正(勅令第五八三號) 陸軍補充令中改正(勅令第五八四號) 陸軍服制中改正(勅令第五八五號) 軍用電氣通信法施行令(勅令第五八七號) 陸軍服裝令中改正(軍令陸第二四號) 公布

第五回新體制準備會は十三日午後二時三十五分から首相官邸で開會近衛首相の指名によつて有馬頼寧伯が座長となり、先づ十二日の常任幹事會で決定した全國民の運動と推進的指導員を包含した所謂推進機關の運動とを併せ規定せる規約要

綱案について審議を進め、堀切、後藤、井田、緒方等の各委員から二、三の修正意見が出たが、結局これらの意見も加へて近衛首相の統裁に委することとして規約に關する審議を終了、次いで常任幹事會の綱領修正案について検討し多少字句を修正して別項の如く意見一致、この間一、東條陸相から陸海軍を代表し翼賛體制確立運動に對する軍の積極的協力方針を闡明

一、村瀨法制局長官から推進機關たる「會」と現存政治團體との關係に關し推進機關と趣旨を同じくする團體であつても團體加入は勿論許さず、又その團體員が個人として參加することも望まないと説明これは第二回準備會に於ける近衛首相の説明を補足したものであるが新運動の推進的任務を負はんとする政治團體は一切發展的に嚮消すべきであることを強調したものである

一、村瀨長官から更に中核體たる推進機

關と政府との關係について、推進運動は官民一體の下に行はるべきであり、その意味から中核體の中へ政府員が顧問若しくは參與として參加することは勿論時には事務局の部長となる事も考へられると説明、閣僚若しくは文官その他の官吏が部長を兼ねる場合は實際にはまだ考慮されてゐないが、中核體と政府が表裏一體の關係にあることを強調したものである

等の重要な諸點が明確化された、なほ推進機關の名稱については各委員が案を持ち寄つて協議したが決定には至らず、更に案を練つて近衛首相に提出することになつた、かくて準備會は去る八月二十三日の第一回會合で首相から要請された審議項目に關する検討を全く終るに至つたので、十七日午前十一時から首相官邸に最後の會合を開いて新體制準備の歴史的任務に終止符を打つこととし同五時半散會した。

我海軍航空部隊は本日午前引續き重慶第三十五次晝間攻撃を實施し城内要人住宅を爆撃せり、この日我が戦闘機隊は敵戦闘機二十七機を捕捉敵首都上空においてこれを殲滅せり、我が全機歸還せり。獨空軍は十二日夜より十三日早曉にかけての間歇的空襲に續いて十三日は特に早朝よりロンドンの晝間爆撃を續行しつつある、即ち第一回空襲はロンドン時間午前七時三十七分に開始されたが、これは八時間半に亙る夜間空襲の解除を告げるサイレンが響いてから僅かに一時間五十四分のことであつた、この早朝の第一回警報は五十三分續いたが、その後十六分にして再び第二回目の空襲警報が發せられ今尙空襲は續行されつゝあり、爆撃弾及び焼夷彈が廣範圍に亙つて投下され火災は目下ウエストエンド方面に擴がりつゝある、また上空では巨大な四發爆撃機の編隊が猛威を揮ひつゝある、尙七日以來の英側の被害は死者千百七十五名、

九月十四日

負傷者四千二百七十名に上ると云はれる。
 兵役法施行令中改正(勅令第五九三號)、陸軍志願兵令中改正(勅令第五九四號)、陸軍武官服役令中改正(勅令第五九五號)軍用電氣通信法施行規則(陸軍海軍省令第八號)、銃石配給統制規則(商工省令七三號)、農機具用ゴム製品配給統制規則(農林省令第八四號)、陸軍兵進級規則(陸達第六三號)
 陸軍武官ノ官等並ニ陸軍兵ノ等級等ニ關スル件(軍令陸第二六號)公布
 晝夜を分たず重慶を連爆しつゝある海軍爆撃隊は十四日第三十六次晝間攻撃を行つた、鈴木部隊長の指揮する石橋、奥山、中村の各隊は十四日午後二時氣息奄々たる重慶上空を急襲し重慶西方の敵重要軍事施設を完膚無きまでに爆撃し、堂銀翼を連ねて全機無事〇〇基地に歸還した、戦闘機殆ど全滅の敵首都上空には

遙に遠く敵機僅一機が逃げゆく姿ありしのみ。

農林省農務局では米、麥等重要食糧問題の解決を圖るべく國土計畫の一環として農地潰減を防止調整すべく農地處分統制法案を作成する一方、農地の投機轉賣を防止するため農地價格統制法案を計畫し總動員法を發動すべく近く總動員審議會に附することゝなつたが、今回更に國土計畫食糧生産立地の立場から明年度以降重要食糧農産物増産十ヶ年計畫を行ふこととなり關係各局との間に努力、資材關係の動員につき折衝中であつたが、愈具體的成案に達したので近く農林計畫委員會に諮り最後の決定を行ふことゝなつた、その内容は大體左の通りである。

- 一、最終年度米穀生産目標は八千四百萬石で本年度目標七千百萬石に比し千三百萬石増
- 二、最終年度大麥、裸麥増産目標は二千六百萬石で本年度目標千三百萬石の二

倍化

- 三、小粒は現在の千三百萬石維持
- 四、この増産十ヶ年計畫に伴ひ三千萬圓乃至五千萬圓程度で「日本土地開發株式會社」(假稱)を新設(半額政府出資)し十ヶ年間に水田五十萬町歩を開發し畑地百三十萬町歩の灌排水による耕地改良を行ふ

- なほ之に伴ひ十ヶ年計畫第一年度たる昭和十六年度増産目標は左の如く決定する
- 一、米穀は本年度基準目標七千百萬石より百六十萬石増の七千二百六十萬石
 - 二、大麥、裸麥は本年度基準目標千三百萬石に百萬石増の千四百萬石とす
 - 三、小麥は本年度同様千三百萬石維持とす
 - 四、なほビール用大粒については増産を抑制して五十三萬石程度とし本年度より約三萬石の減産を行ふ
- 十三日午後九時から開始された獨空軍の爆撃は夜を徹してロンドン一帯を震撼

せしめ十四日午前五時三十一分、曉と共に漸く休止したがこれは去る六日夜「ヒットラー爆撃」開始以來實に二十八回日の爆撃であつた、而もこれで一息つく暇もなく早くも午前九時三十分には獨機の接近を知らせる十四日第一回の空襲警報が物々しく鳴り響いた。

九月十五日

海軍航空部隊は十四日中秋の月明を利用して重慶第三十七次夜間攻撃を實施せり即ち森田部隊長の指揮する攻撃隊は午後十一時二十分重慶上空に突入、城内重要施設を爆撃、重慶官民をして不眠の死地に追込めたり、數條の探照燈を認めたるのみにして敵の反撃更になく我が全機歸還せり。

海軍航空部隊は本日密雲を冒して重慶第三十八次晝間爆撃を實施し四時間に互り重慶新市街、江北並に西南郊外を爆撃全機歸還せり。

九月十六日

政府は十六日首相官邸に近衛首相以下全閣僚參集して臨時閣議を開催、内閣書記官長談の形で左の如く發表した。

「本日重要國務につき臨時閣議を開催せられたり」

新政治體制運動並にこれを指導推進する機關としての會の名稱については政府は十七日の最終準備會で決定することとしたので、十六日午後首相官邸で開催の常任幹事會で協議した結果

（一）運動の名稱は『大政翼賛運動』

（二）會名は『大政翼賛會』

を最も相應しい名稱であると意見一致した、名稱については近衛首相の統裁に俟つことになつてなるが、首相としては十七日の準備會でこれを一方的に宣言することはせず、一應これを委員に諮り更に意見があれば十分考慮する建前をとつてゐるが、大體以上の名稱に落着くやうである。

海軍航空部隊は今曉四時三十分重慶第

三十九次夜間攻撃を敢行せり、中井部隊長の指揮する爆撃機は暗雲を冒して重慶上空に突入すれば折柄月明を見る、幸先よしと重慶西郊要人住宅李家花園を痛爆し一ヶ所より火災を生ぜしめたり、敵の反撃更になく數條の探照燈を認めたるのみ、我は全機歸還せり。

交通道徳強調週間が十六日から始まつた——ハイヤー、タクシーの徹底的制限強化から市民の足が集中され既に飽和點以上にまで達してゐる電車、バスの混雑を更に殺人的なものと化してゐる市民の交通道徳頹廢を、この週間に於て一舉に挽回せんものと警視廳及び管下各署の交通巡查が總動員の下に町の青年團、事故防止會や各工場の交通自治會も協力、又先に東京驛等に出動して好評を拍した東京聯合少年團、新たに日出高女等も加はつて、全市に交通指導陣が張り、街角や停留所に掲げられた交通標語が自から訴へれば轟聲機からも耳に訴へ、市民の

交通良心を更に習性になまで導かうと努力、また十六日午後五時四十五分から兩本警視廳保安部長がラヂオを通して市民に交通道徳勵行を強調した。

新政治體制に即應して各種團體の整備統合の機運が濃化しつゝあるのに鑑み文部省では青少年團體の統合並に組織強化に乗出し過般來これが關係團體首腦部と協議中であつたが各團體とも時局を認識して進んで應諾の意を示しこの際過去に囚はれず根本的強化策を斷行すべき旨、積極的なる熱意を表明するに至つた、かくて文部省では青少年團體中最も有力なる大日本青年團（團長有馬良橋海軍大將團員二百九十二萬七千人）大日本聯合女子青年團（理事長吉岡彌生女史、團員百五十八萬人）大日本少年團聯盟（理事長二荒芳徳伯、團員十四萬八）帝國少年團協會（理事長鈴木孝雄陸軍大將、團員五十九萬九千人）大日本海洋少年團（總長竹下勇陸軍大將、團員十二萬一千人）の

五團體その他を統合して新たに『大日本青年團』を組織することに決定、十六日

左の参考試案を發表した。而して右参考試案に依れば中央組織については團長に文部大臣が就任、副團長は文部大臣が任命するほか顧問、參與、専門委員を委嘱するが中央本部には總務、企業、指導、國防訓練、海軍專練、女子、少年の七部をおくことになつてゐる、一方地方組織については公立青年學校通學區域を標準として設ける單位青年團を最下部組織として町村青年團、郡市區青年團、道府縣青年團とピラミット型に縱に構成され、道府縣青年團長には地方長官が就任することになつてゐる。

英國危機のクライマックスたる週間に相應はしく十六日勿々午前中に早くも空襲警報は二回雨中のロンドンに鳴り響き、珍しい雨天にも拘らず、獨空軍はロンドンに空襲し來つた、海峽一帯は連日に互つて歴史的大空中戦が展開され、砲

火と爆撃の凄じい響きは海峽を壓し去つてゐる。

九月十七日

陸軍技術手依託學生依託生徒規則（陸軍省令第三七號）、陸軍依託學生依託生徒規則中改正（陸軍省令第三八號）、價格等統制令第七條ニ依ル種類（素麵、干饅、冷麥、干麵及玉饅、除ク）ノ販賣價格指定（商工省告示第五四四號）公布
新體制準備會の最終會議は十七日午前十一時二十分から首相官邸に開會、近衛首相以下全閣僚、各委員並に常任幹事出席、近衛首相の指名によつて有馬頼寧伯爵長となり、有馬座長から十六日の常任幹事會で意見一致した運動の名稱「大政翼賛運動」會名「大政翼賛會」の紹介があり、最後の會議に際して意見があれば承り度いと述べたに對し及川海相から軍と翼賛運動並にその中核體との關係に關し前回の東條陸相の發言と同様の積極的協力方針の言明があり、次いで井田委員

から「翼賛運動は皇運扶翼思想を基調として推進さるべきである」旨を強調し又末次委員から「新體制運動と併行して政府は當面の内治外交諸問題に對し積極的に解決に當るべきである」との希望があつた後近衛首相から、準備會終了に際しての力強い挨拶があつて、去る八月二十八日第一回會合以來六回に互つて閉會された準備會は茲に翼賛運動の生みの親としての歴史的任務を果して正午過閉會。

獨機の猛爆下に忽ち姿を變へるロンドンを想ふにつけ、帝都七百萬市民の關心は今や完全に大空へ凝結され「護らう！東京を」の熱情が鬱勃と燃上つてゐる秋鐵壁の大東京を建設しようと言ふ彪大な東京防空都市計畫案の大綱が十七日内務省で決定した、これまで府、市等各方面で部分的に立案、實施されて來た計畫を綜合統一し、我等の市都を更にながつちりと防空の頼もしい腕に抱きしめようと言ふのだ、まづ東京をこれ以上膨脹させな

い、中小都會を帝都の周圍に點在させ、更に入市の抑制や地方出身者の歸郷獎勵などを考へられる、次には火災から護ること……防火改修を急ぐのは勿論、河や道路や綠地、公園を活用して防火防空帯をつくる、また市民の生命を護る防護、避難、救護等の設備等……帝都を仕上げの計畫は着々進めしれるのだ、すなはち内務省がこの要綱を決めた十七日の第一回の打合せ會には同省から藤岡計畫局長、春藤、中澤各第一(土木)第二(建築)兩技術課長、東軍軍司令部から參謀山本中佐、警視廳から小林建築課長、府市等からも關係各課長等約三十名が出席したが、今後毎週一回この額觸れで會合を開き將來は鐵道、逓信省等からも委員が參加して細目にわたる具體案を次々に決めてゆくが、重點主義に則つて三ヶ年計畫で實行に移される事になつてゐる。

獨軍の對英上陸作戦開始が一日を争ふ問題の如く印象付けられてゐる英國民に

とり十七日は折柄の強風と濃霧と英爆撃機隊の活躍の御蔭で獨軍の上陸を免れた観がある、この日終日英國一帯に強風が吹き風速は次第に暮り夜に入つてイングランド沿岸は怒濤に洗はれる有様であつた、然しこの悪天候を冒して獨英兩空軍は空襲の應酬に忙しく獨爆撃機隊の來襲によりロンドン地區では日中だけで五回の警報が發せられたに對し英爆撃機隊も英仰海峽を越え獨軍占領下の佛沿岸一帯に爆撃を加へたかくて十七日も獨軍の活躍はロンドン空襲のみに止つたが同日午後チャーチル英首相は下院に於る演説中獨軍の英國侵略準備は刻々進捗しつゝあり危険は去つたのではなく目前に迫りつゝあるのだと述べ英國國民に警告を發した

十七日午後七時九分ロンドンでは此日五回目の空襲警報が發せられた、最初獨機の爆撃は過去三日に互る夜襲よりも不活潑の観があつたが獨機は其後五分間置き位にリレー式に反復上空に現れ時には

三機或は四機の一團となつて來襲し轟進する獨機の姿は雲を破つてその後を追ふが如くに炸裂する高射砲彈の閃光で照し出され地上からも望見することが出来た尙警報は午後十時に至るも未だ解除されてゐない。

九月十八日

故陸軍砲兵少佐大勳位功四級北白川宮永久王殿下の御喪儀は十八日冷雨に滯るゝ吾羽の社、豊高岡御墓所に於て嚴かに執り行はせられた、尊き御身を以て今次聖戰に御一柱、華と散らせ給うた御英靈は永へに輝く御武勳と共に哀しくも安らかに神鎮り給うたのである。

天皇陛下には北白川宮永久王殿下の御戰死を深く御哀惜遊ばされると承るが、十八日の御喪儀當日は特に慶朝仰出されひたすら御英靈の御冥福を御祈念あらせられた由に承る、また皇后、皇太后兩陛下にもしばし御黙禱を捧げさせられ御冥福を祈らせられたと拜承する。

事變下六度目の靖國神社秋の臨時大祭は来る十月十五日の招魂式に次いで十六日から六日間軍事參議官畑俊六陸軍大將を臨時大祭委員長として嚴かに執り行はれるが、新合祀の英靈について陸海軍兩省で手續中のところ十八日御裁可あらせられ合祀仰出されたので、同日午後四時陸海軍兩省からその氏名が發表された、

新に祭神の列に加る護國の英靈は滿洲事變および支那事變の戦歿者中昭和十三年九月下旬の武漢攻略初期にいたるまでに戦死、戦傷、病死、公傷死をとげた陸海軍軍人および軍屬で陸海軍合計一萬四千四百柱に上つてゐる。

今春までに靖國神社に合祀された祭神は十七萬九千四百柱、今回の第五十七回臨時大祭で祀られる新祭神を加ふれば祭神の總計は十九萬三千八百柱に達するわけである。

DNB通信社の發表によればリッペンとトップ獨外相は十八日午前ベルリン出

發ローマに向つた、この突然のローマ訪問についてはドイツ側では獨伊軍事同盟による隨時の協議聯絡を行ふためと説明してゐるが切迫せる對英本土作戰の進展と關聯あるものとみられる。

十七日夜半より十八日早曉にかけて行はれたドイツ空軍のロンドン地區強襲においてドイツ機はイギリス航空省に巨彈を浴せた、また中心部の大商店數軒も破壊された、さらにロンドン近郊各地も猛爆を受け特にロンドン東南部では工場、商店の被害甚だしかつた、十七日夜より十八日早曉にかけての空襲は最近の夜間空襲中もつとも死傷者が多數に上つた見込みで當局は憂慮してゐる。

× × ×
× × ×

「第一に實行さるべきは、新體制運動を國民一般に徹底的に理解せしめることである。新體制運動とは何ぞやといふことは一應國民一般に普及してゐるが、世にはその眞意を未だ理解せず過大の期待をかけるもの見當違ひの危惧を抱くものが、決して少くない。新體制運動に全國民の力強い協力を得るためには、一日も早くこの大政翼賛運動の本質を知らしめることである。この宣傳啓發事業は、敢て大政翼賛會の結成を俟つまでもなく、また官たると民たるとを問はず、各方面一體となつて協力し、全國的に新體制的宣傳普及が展開されねばならぬ。」

(東日社説の一節)